

親子の世界が広がる絵本

赤ちゃんは、リズムをもって言葉が繰り返されていたり、はっきりした色づかいに目を向け、見ることを楽しんだりします。そこで、赤ちゃんといっしょに楽しめる絵本を紹介します。



『くっついた』
こぐま社
作/三浦太郎

短い文章と「くっついた」の単純な動作のくり返しが心地よく、しあわせな気持ちになってくる絵本です。



『ころころころ』
福音館書店
作/元永定正

色とりどりの丸い形がころころと動きまわります。色の世界を楽しめる赤ちゃん絵本です。



あかちゃんのりものえほん『コトコトでんしゃ』
アリス館 作/とよたかずひこ

でんしゃがコトコトコトンとはしったり、ゴトゴトゴンと鉄橋を渡ったり、リズムカルな音のくり返しがでんしゃに乗っているような気持ちにさせてくれる「赤ちゃんのりものえほん」です。



『だるまさんが』
ブロンズ新社
作/かがくいひろし

「だ・る・ま・さ・ん・が」と体をゆらしていたら「どてっ」「ぷしゅー」などのユニークなポーズをとるだるまさん。おもしろい表情と動きに思わず笑ってしまいます。



『あかちゃん たいそう』
小峰書店
作/鈴木まもる

いぬと握手をしたり、ぶたとおしりをくっつけたり、最後にぎゅ〜っと抱きしめてもらったり、絵本を見ながら一緒にふれあいを楽しめる絵本です。

